

Tsubame BHB



つばめBHBはエレクトライド触媒を用いたアンモニア合成技術で、食糧安全保障などの社会課題の解決に取り組みます

ビジョン

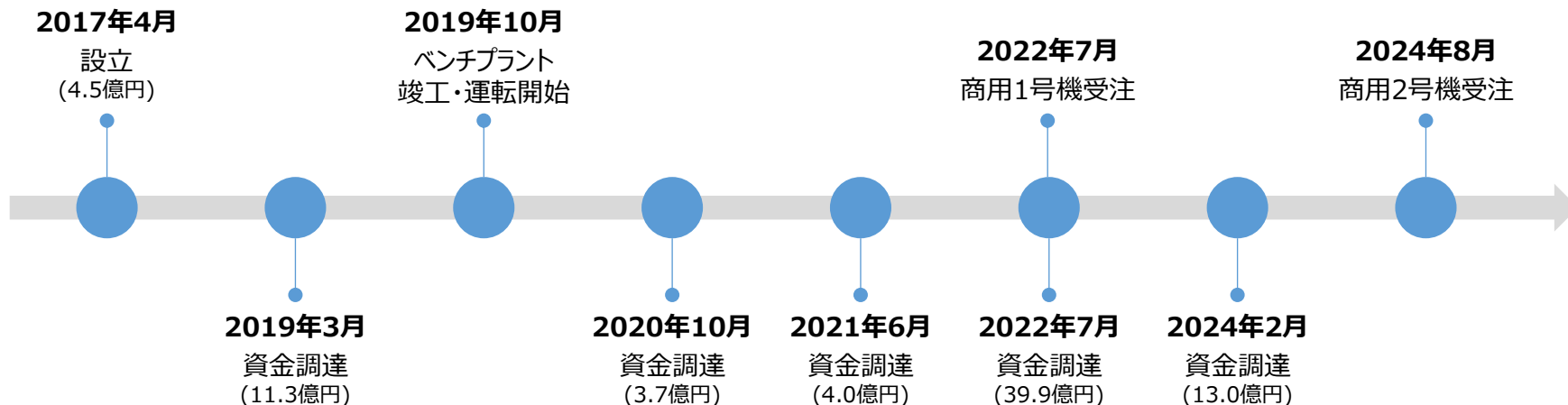
独創的な技術を活用することで環境・食糧問題にかかる人類課題を解決し、持続可能な社会を実現する



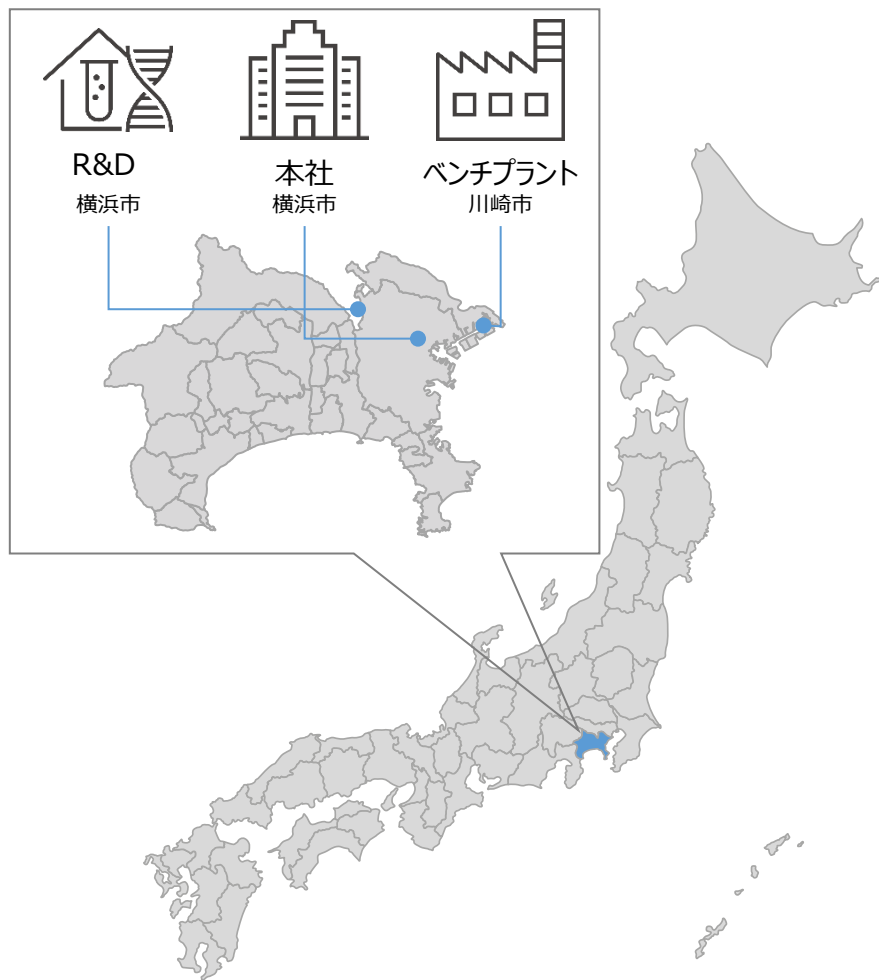
細野秀雄 栄誉教授が独自に開発した革新的なアンモニア合成触媒である「**エレクトライド触媒**」の商用化を目指し、2017年に設立



窒素肥料の主要原料であるアンモニアを世界中の人々が入手できるようにするため、**アンモニアの分散生産システム**を展開



横浜本社、R&Dセンター、デモプラントで50名以上の社員が活躍しています



58
従業員数*1



12
エレクトライド触媒及び関連プロセスに
関する特許数*2



18
主要株主



76億円
資金調達総額






9
受賞数

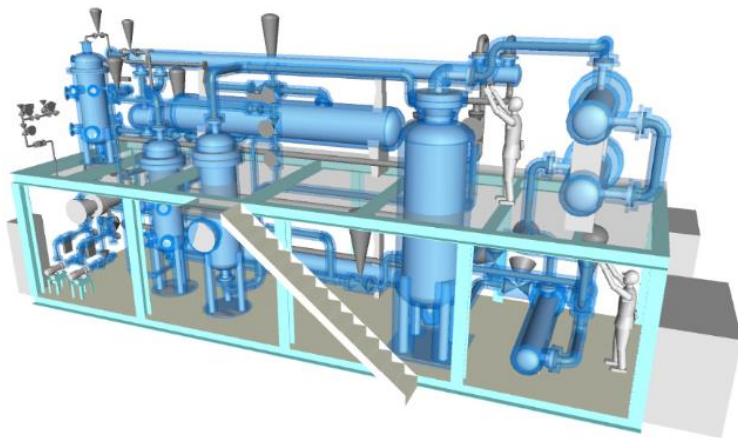
*1 2024年8月時点

*2 (a)当社が専用実施権を有する特許、(b)審査係属中の特許を含む

500～5,000トン／年のアンモニア生産プラントの設計・調達、触媒の供給、及びプラントの運転トレーニングを提供します

キャパシティ（アンモニア生産量）	設置面積*1
1 500トン /年	W16 x L21 m
2 3,000トン /年	W20 x L30 m
3 5,000トン /年	W25 x L40 m

提供サービス	
	アンモニア関連設備の供給*2 (設計及び機器の調達)
	エレクトライド触媒の供給
	運転トレーニング



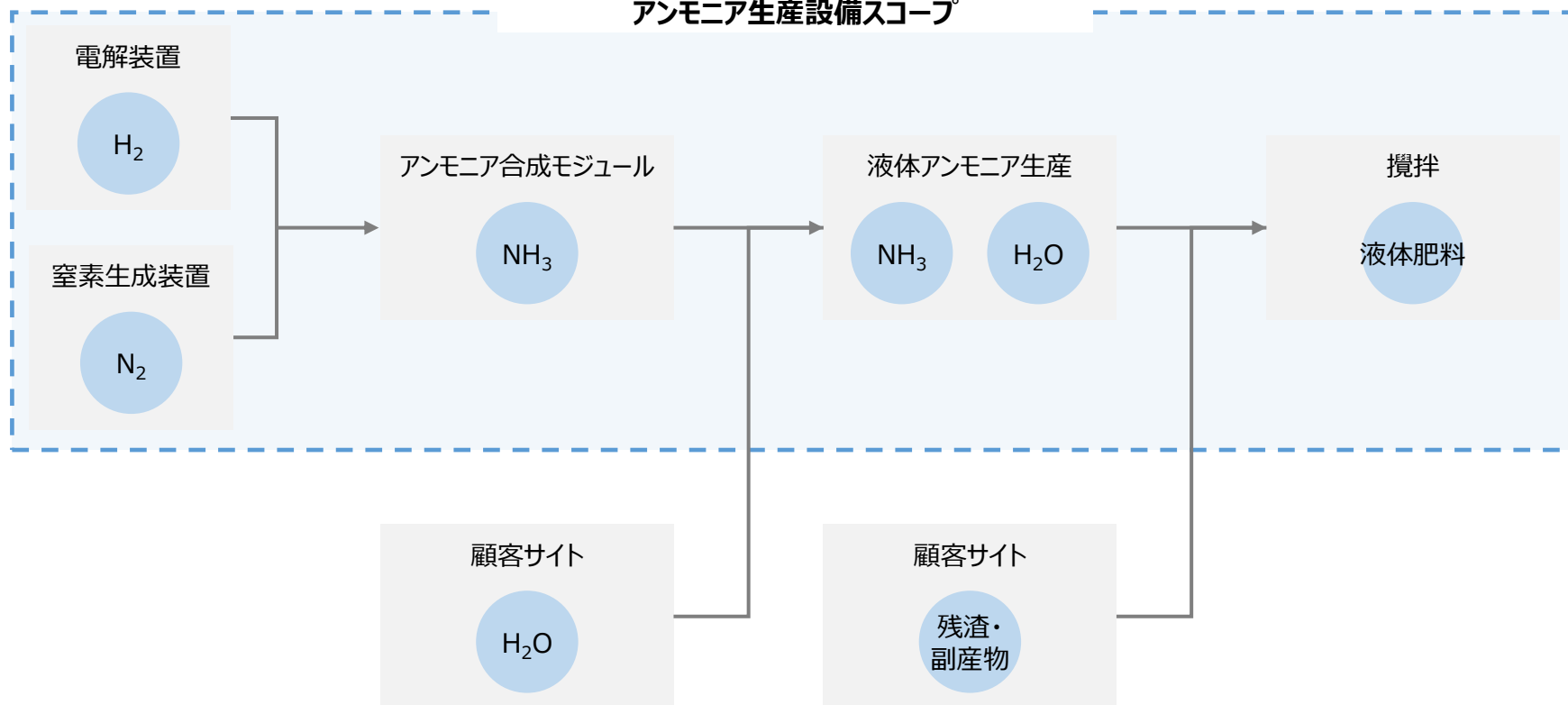
*1 設置面積はプロセス設計の改善により変更される可能性がある

*2 アンモニア関連設備には、アンモニア合成設備のほか、顧客のニーズに応じて水素及び窒素生成装置、ならびに肥料などの最終製品の製造設備も含むこともある

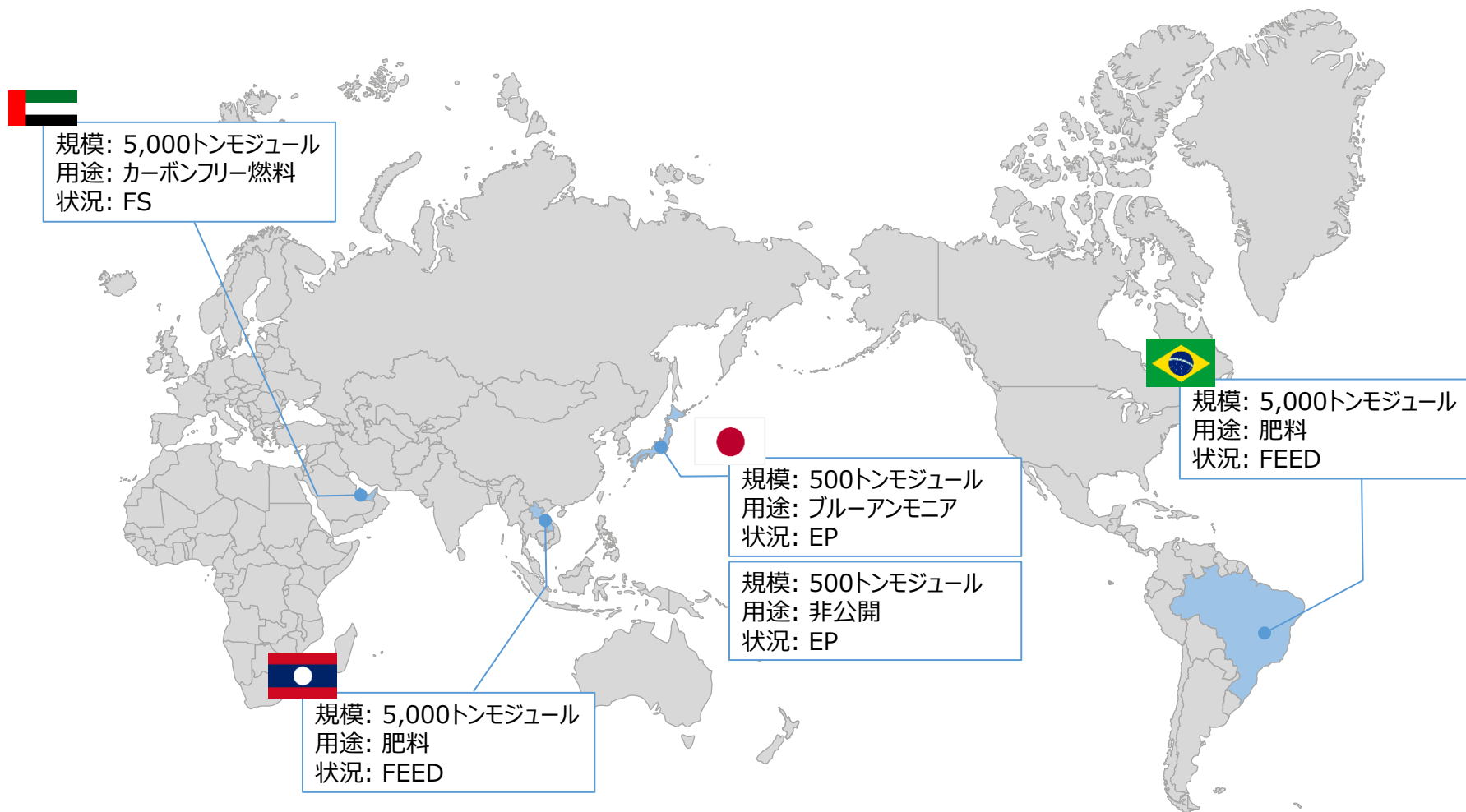
アンモニア合成モジュールにとどまらず、川上及び川下の生産設備の設計・調達も行います

肥料生産の場合

アンモニア生産設備スコープ



日本国内では2件の商用案件を受注済みで、海外においても案件組成のためパートナー候補となる企業と交渉を進めています



つばめBHBはアンモニアの普及を通じて脱炭素社会の実現に貢献します

